

2021年度

第2回

自己評価委員会報告書

於：令和4年2月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

自己評価委員会報告書

日 時：令和4年 2月14日（月） 10：30～13：00

場 所：松本理容美容専門学校 会議室

出席者名：（学園）長尾理事長・嶋村副理事長・吉川事務局長・桐山広報企画部部长

（学校）小原校長・小口教務主任

長尾理事長挨拶

今年度はコロナ渦の大変な中、学校としてきちんと対応して頂き、また、自己評価をすることに重点をおいてきてもらい感謝している。自己評価することは、お客様のニーズの変化を敏感にとらえ学校としての自己評価も変化していく時代である。

自己評価6年目にはいり、かなり内容が成熟してきていると感じている。自己評価の取り組みの意味は大きいと感じている。引き続き、前向きに結果につなげてほしい。

【審議検討事項】

1. 2021年度自己点検・自己評価について（資料①参照）

2021年度報告として、7月自己評価委員会において中間報告した項目に加え、全項目の周知すべき点の報告を行った。

（基準1）

- ・令和2年度の国家試験対策を見直し、受験者全員の合格を目標に掲げ、全校一丸となって取り組んでいる。
- ・7/9（金）延期していた2年生修学旅行を実施した。
（富士急ハイランドコースと松代・白馬コースの希望者に分けて日帰り日程による実施）
- ・8月21日～22日ビューティビジネス科のパルコ実習は中止とした。
- ・9月23日（木）Beauty Collection は長野校、松本校との合同開催を各校の取り組みに変更して実施した。
- ・12月20日（月）～21日（火）延期していた1年生修学旅行を実施した。
（大阪ユニバーサルスタジオと道頓堀見学を一泊二日で実施）
- ・12月20日（月）～21日（火）BB科2年生テーブルマナー研修
（エクシブ蓼科にて1泊2日として実施）
- ・令和5年度開催を視野に入れてBeauty Collection は長野校、松本校との合同開催の準備を続けていく。

（基準2）**総括**：令和3年9月 職業実践専門課程認定校 フォローアップ申請を行った。

- ・令和3年9月23日（木）Beauty Collection は長野校、松本校との合同開催を各校の取り組みとして実施した。
- ・延期を余儀なくされた修学旅行等の学校行事は、感染対策を取り入れることで、概ね実施することができた。
- ・令和2年～3年にかけて、コロナ禍によりリモート授業が実現した。課題はあるものの、今後の授業形態として通信環境、発信体制等を順次整備していく。

（基準3）**総括**・令和3年度 職業実践課程フォローアップ申請に伴う実習内容の充実を、「教育課程編成委員」「関係者評価委員」からの提言をもとに推進させる。

- ・令和4年度から、選択必修に「シャンプー&ヘッドスパ90時間」を加えることで、美容サロンからのニーズを実習授業に反映させた。また、2年次選択授業の「メイク、ネイル、パーマ、ヘアセット」から内容を変更した。

令和4年度 2年次選択授業4教科

○前期 30時間：「メイク、ヘアセット、カット、まつ毛エクステンション」

○後期 30時間：「ネイル、カット、ブライダル、カラー」

- ・令和4年度より選択必修「シャンプー&ヘッドスパ」を1年次30時間2年次60時間、計90時間として実習計画に組み入れた。
- ・ビューティビジネス科のブライダル実習90時間から100時間として内容を充実させた。
- ・令和3年度1月の理美容科1年生実務実習は3月に延期した。
- ・嘱託、外来講師による授業、実習においても、授業、実習の主体は担任教師と専任教師である。各教科のシラバスを元に、内容の把握から生徒理解の現状に注視して、特に事前準備とまとめには担任教師が積極的に関わっていく。
- ・教職員自己評価表を行い、提出をすることで、勤務状況、教務の状況等、個々の課題発見と共に教職員間の連携に対する意識喚起の機会とした。
- ・令和3年度美容科1名の教員を増員した。
- ・令和3年度、両校交流研修会は感染対策を講じて、松本校にて6月と7月の2回開催した。
- ・令和3年度資格試験の結果

○2年生サービス接遇検定3級	69名受験	53名合格	76.8%	
○2年生ジェルネイル検定	21名受験	20名合格	95.2%	
○1年生JMAメイクアップ検定3級	92名受験	91名合格	98.9%	
	2級	92名受験	91名合格	98.9%
○2年生社会福祉準福祉理美容士	71名受験	68名合格	95%	
○1年生ネイル検定	79名受験	78名合格	97.5%	
○1年生パーソナルカラー検定	87名受験	77名合格	88.5%	

(基準4) **総括**：令和3年9月23日（木）Beauty Collection は長野校、松本校との合同開催を各校の取り組みとして実施した。

- ・延期を余儀なくされた修学旅行等の学校行事は、感染対策を取り入れることで概ね実施することができた。
- ・令和3年度理美容科国家試験対策として、模擬試験問題、ポイント集、対策プリントの見直しを行い、試験授業の充実を図る。
- ・令和3年度、スクールカウンセリング日程を調整して、5月と8月の相談機会を増やした。
- ・令和3年度 退学者3名 休学者2名
 - 退学（BB科1年生2名、美容科2年生1名）
 - 休学（美容科1年生1名、美容科2年生1名）

(基準5) **総括**：新型コロナウイルス感染防止対策として示された、文部科学省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進した。

- ・令和3年9月23日（木）Beauty Collection 長野校、松本校の合同開催を各校の取り組みとして実施した。
- ・延期を余儀なくされた修学旅行等の学校行事は、感染対策を取り入れることで、概ね実施することができた。
- ・新型コロナウイルス影響により、1回目就職ガイダンス県内サロンのみ実施。2回目は通常通り実施。
- ・オンライン形式の面接・見学のサロンが増加したため、対応できるよう準備し、実施している。
- ・令和3年度新型コロナ感染防止策として、県内サロン33店舗に限り5月1回目の就職ガイダンスを行った。
6月第2回は県外サロンも感染対策を条件に就職ガイダンスを実施した。
- ・オンライン形式の面接・見学のサロンが増加したため、対応できるよう実施。
- ・昨年に続き、特に県外への就職指導は就職部との連携を密にして取り組んでいく。

- ・昨年度から続く、感染対策により不自由な学校生活となっているが、担任教師による個人面談、スクールカウンセラー、ロングホームルームを活用して目標に向かう気持ちの維持に働きかける指導を実施している。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策として示された、文部科学省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進する。(奨学金対象者数)

令和2年度「給付型修学支援」対象者 1年生9名 2年生12名 -11%

(奨学金対象者:1年生19名 2年生34名) -27.7%

令和3年度「給付型修学支援」対象者 1年生24名 2年生8名 -16.1%

(奨学金対象者:1年生42名 2年生18名) -30.3%

- ・学校行事、長期休業後の感染防止対策として、抗原検査キットを用いた取り組みを行った。
- ・令和2年度・3年度の、「理美容甲子園」は開催が中止となった。フォトコンテスト、リモートコンテスト等の参加を促した。
- ・令和4年度入寮希望者に対して、周辺アパートを確保して男子寮・女子寮として活用する。
- ・令和3年度における学校運営に、大きな問題は生じていない。今後の行事等の運営については適時、保護者連絡を行い丁寧に進めていく。

(基準6) **総括**: 今後の感染症対策授業として、オンラインを活用した資格試験対策、国家試験対策の授業システムを構築する。

- ・令和3年度は、感染対策を徹底し5月に2年生の実務実習を3日間実施した。
- ・令和2年度延期とした修学旅行は2年次7月に日帰り計画で実施した。
- ・ビューティビジネス科「パルコイベント」は感染防止を理由に中止とした。
- ・「ビューティコレクション」は会場を松本校として9月に実施した。
- ・1年生修学旅行は日程を延期したが、12月に目的地を大阪 USJに変更して実施した。
- ・BB科2年生マナー研修はエクシブ蓼科にて実施した。
- ・1年生理美容科の実務実習は1月から3月へ日程変更を行った。

(基準7) **総括**: 継続し学生募集に力をいれていく。

- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集までに構築する。打ち合わせを開始している。
- ・学園HP内容リニューアル準備業者に依頼し、進めている。
- ・ネット広告の検討開始。
- ・令和5年実施に向けて入試制度・特待生・指定校の見直しをし、募集要項作成済である。
- ・特待生・指定校生の入試制度変更内容について、高校廻りを実施する準備を開始している。
- ・令和5年度学生募集から推薦入試選考方法の変更をし、募集要項作成。
「特待生入学者、指定校入学者において事前作文提出と当日面接」
- ・令和5年度より実施する入学願書(志願理由書)の準備を開始している。
- ・在学特待制度の設立については、検討中
- ・令和6年度学生募集までにWeb出願制度を構築するため、業者との打ち合わせを実施した。
- ・新入学制度説明のため、5月・6月高校廻り実施準備を開始している。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

(基準9) 継続して、問題なく実施できている。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

2. 重点目標について（別紙1・2参照）

○2021年度実施報告

① ビューコレ2020への取り組み ②学生募集と就職指導の充実 ③感染対策の習慣化

- ・感染状況に考慮して各校におけるビューティコレクションの開催とした。
感染拡大防止として、保護者等の観客を入れない代わりにInstagramにおけるライブ配信、HPにおける動画配信を行った。
- ・各テーマに基づく作品制作をグループで行うことにより、生徒間での切磋琢磨することで達成感を得ることができている。また、感染予防の観点から、マスクを用いたヘアメイクデザインに対しても抵抗無く互いに意見を出し合うことで、よりよい作品制作と、個々を認め合う人間力を向上させている。
- ・オープンキャンパスにおいて、クラス単位で行った体験においては、各クラス、体験内容を検討し参加する高校生が楽しめるようにした。参加高校生が、多くの在校生と関わり、話をする中で、高校生が理美容学校生活をイメージしやすく、高評価であった。また、在校生も高校生と関わることで責任感を持つことのできる機会でもあった。今後も多くの在校生と関わる機会を設けていく
- ・クラス担任の個別指導と合わせ、学年主任も含めた指導の中で、生徒指導、面談を行うことができ、生徒の状況を学年で共通理解ができている。また、生徒の様子が担任以外の職員が把握することで、早めの対応がとれるようになっている。
- ・家庭内含め濃厚接触者、または、接触者の疑いがある場合、リモート対応を行うなど、早めの対応をすることで学校内の感染拡大を防止している。
また、各教室へサーキュレーターを設置することで、空気の循環をよりよいものとした。
- ・県外移動等の行動計画書と、健康観察、抗原検査を実施、感染予防の意識が高まっている。
また、感染レベルや、県等の感染における情報を得たうえで、感染対策を柔軟に対応している

3月31日時点で2021年度重点目標の実施状況の報告

2022年度も引き続き、重点目標を中心に向上していく努力をしていく。

○2022年度目標課題

① 各行事における生徒達成感をもたせる ②生徒指導の充実 ③学生募集から就職指導の一貫指導

各行事における生徒達成感をもたせる

○感染状況を鑑み、休止していた「ヘアフェスティバル」「ヘアショー」を計画、実施できるよう準備をしていく。
生徒主体で学習成果を発表する場として達成感を得られるよう、教職員一体となり取り組んでいく。
また、オープンキャンパスを引き続きクラス単位で行うことで、愛校心と、クラスの連帯感を持たせる。

生徒指導の充実

○生徒指導における学年主任中心とした学年におけるチームティーチングの構築

・担任個別指導→学年における情報共有→学年主任含む多者面談→職員全体の情報共有

学年で生徒情報を共有することで、個別面談だけではなく、多くの職員の声掛け等により生徒自身の存在感を持たせ、退学、休学者を作らない学校づくりを徹底する。

○講師との連携を深め、学科内容の把握、充実に図り、低位の生徒に対してのサポート体制を構築する。

○感染状況に合わせた、リモート授業の継続

感染状況に応じて柔軟に対応できるよう体制を整え、学びの継続を徹底する。

学生募集から就職指導の一貫指導

○令和6年度入学生希望者を対象とした「オンライン出願」への整備と周知を進める。

○就職指導を生活指導の延長ととらえ、就職部からの情報収集を行い、クラス担任が主体となって内定まで指導を続ける。

3. 学校関係者委員会の報告（資料2）

- ・新型コロナウイルスの影響がある中、先生方の努力により、コロナ感染者を出さずにいてくれる事を評価している。
- ・就職部のサポート体制が整ってきているので、信頼している。引き続き、連携していく。
- ・卒業後のキャリアプランまで構築できるよう指導していく。
- ・国家試験合格率の影響力は大きい。専門学校として資格取得させる大きな責任がある。前向きに考え、方策を検討して行ってほしい。
- ・就職後の早い時期での退職の理由が気になる。サロン選びをきちんとしていかななくては。生徒の考えをきちんと把握し、就職先を見極めて行ってほしい。
- ・今年度入学者 108 名中、休学 1 名・退学 1 名とのこと、比較的落ち着いて学校生活を送ることが出来ている。
- ・精神不安定・家庭環境の難しい生徒が多く大変だと思うが、カウンセリングを上手く活用して行ってほしい。
- ・就職内定率 100%のみを重視するのではなく、もっと生徒の考え・キャリアプランを軸にサロン選択をして行ってほしい。
- ・サロンとしても人材採用の難しさを感じている。
- ・主要の先生方の前向きな考え方と全職員が同じ方向性を向かっているのかを心配している。
→若干の温度差はあるが、大切なのは生徒指導である。改善する努力をしている。
- ・先生という立場に甘んじてはいけない。生徒は先生の背中を見て育つ。厳しい事を言ってくれる存在は大事である。
- ・コロナと上手くつきあいながら、就職活動や1つでも多くの思い出を作ってもらいたい。
- ・今後もコロナ感染拡大が心配である。今後より一層気を引き締めて、頑張ってもらいたい。
- ・コロナ影響もあり、大変だと思うが、学校としてきちんと努力していることは理解している。今後も引き続き頑張ってもらいたい。
- ・募集において、ネット広告・インスタの強化は必須である。
今年度はより一層、生徒募集に力を入れてほしい。

以上が、学校関係者評価員会にて検討した事項の報告

4. 教育課程編成委員会の報告（資料3）

- ・国家試験の合否もあるが、スタッフとして受け入れている責任上サポートしてくだんなことも取り組むにあたっては興味を持たせる大変さは、サロンでも感じている。成長過程での環境や親の影響も受けるので多角度から持っていく。
- ・仕事を上での達成感、目的を意識させていくことも必要になる
- ・カリキュラムの充実ができてきているので、技術だけでなく相手がいる、相手に対して何が大切なのか、人間教育も大切である
- ・シャンプーなどは、キャリアの若いスタッフが指導したほうが生徒も理解しやすい面が多いのでは。また、ブライダルやまつエクなどピンポイントで見るのではなく、総合的なとらえ方をできるようにしていくことが大切。
- ・就職状況については、将来を考えて進路選択も課題である。

以上が、教育課程編成委員会にて検討した事項の報告

5. 次回 第1回 自己評価委員会

日 程：令和4年7月20日（水） 10時30分より 場 所：松本理容美容専門学校 校長室